

## 令和元年度事業計画

本年は、天皇陛下の皇位継承が行われ、新しい時代の幕開けの年でもある。時代も変わるにつれシルバー人材センターもその時代に合ったニーズに応じていかなければならない。

平成31年国会での首相の施政方針演説でも述べられている一億総活躍の中に、「元気で働く意欲のある高齢者の方々に、その経験や知恵を社会で発揮していただくことができれば、日本は成長する。」との一文があり、これはまさにシルバー人材センターの目的にも共通する内容でもある。

我が国は、少子高齢化が急速に進み、労働人口を高齢者が担わなければならない時代がきており、これに伴いシルバー人材センターの役割も一段と重要となっている。

この状況下でのセンターの現状は、減少傾向にある会員数に歯止めをかけプラスに転じさせることが第一の課題である。会員の増強が一億総活躍の一翼を担い、地域の皆様のニーズに応えることにも繋がる。今年度はこの課題を最重要課題に置き、市民に愛されるシルバー人材センターを目指し、社会への感謝を常に忘れず地域社会に根差した事業活動を実施するために、以下の事業計画を策定する。

### I. 基本計画

- 1 臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務に係る就業を希望する高齢者の為の就業機会の確保及び提供
- 2 高齢者に対し就業に必要な知識及び技術の付与を目的とした講習の実施
- 3 社会奉仕活動等を通じての高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るための事業
- 4 前項の目的を達成するための調査研究、相談及び事業も企画運営
- 5 その他センターの目的を達成するために必要な事業

### II. 平成31年度重要課題

- ア 会員数、目標値716名の達成
- イ 安全就業基準の周知・徹底
- ウ 設立40周年記念誌の作成準備

### III. 事業実施計画

センターの事業理念である、会員による「自主・自立」「共働・共助」を推進し、地域社会に貢献できるセンター事業の推進を図る。

また、今年度は重点課題に示した三つの重点課題を中心に、より一層の推進を図る。

#### ア 会員数、目標値716名の達成

公益社団法人全国シルバー人材センター連合では、会員100万人達成計画に基づく拡大計画（平成30年から7か年）を策定し、全シルバー人材センターに対し個々の目標値を設定している。当センターも平成30年度理事会においてこの目標値（平成31年度は716名）を設定しており、この内容に沿った会員増強計画を策定し、会員が一人となり目標値達成に努める。

## イ 安全就業基準の周知徹底

当センターは、「会員事故ゼロ」を掲げ毎年安全対策を進めている。事故の原因を分析すると、全てが安全基準違反である。このため安全管理委員会を中心に安全就業基準の周知・徹底を図り、会員の安全意識の高揚に努める。

## ウ 設立40周年記念誌の作成準備

当センターは、来年5月に設立40周年を迎える。これに伴い今までの歴史を残すために記念誌作成することとする。これに伴い新たに設立40周年記念誌作成委員会（仮称）を立ち上げ、記念誌の作成準備に取り掛かる。

### 1. 情報の収集及び提供

あきる野市の産業祭等の行事に積極的に参加する。また、機会があるごとに当センターの事業内容あるいは活動状況等を市民に提供するとともに、就業に関する情報を収集し事業の拡大を図る。

- (1) 会報「シルバーあきる野」を年3回発行（内1回会員用）し、センター事業に関する情報を会員、関係団体及び市民に提供する。
- (2) あきる野市の産業祭に積極的に参加し、センターの事業に関する情報収集及び提供を行う。
- (3) あきる野市の協力を得て、市広報にセンター事業の情報を掲載し必要に応じて広く市民に情報の提供と普及啓発を行う。
- (4) （公財）東京しごと財団発行の「シルバーとうきょう」、（公社）全国シルバー人材センター協会発行の「月刊シルバー人材センター」を通じて最新の情報の収集に努める。

### 2. 調査研究

就業機会の開拓・拡大のため、会員及び高齢者の就業に係る調査研究を行い必要に応じて実態調査を実施する。

- (1) 民間企業、一般家庭、官公庁及び各種団体等に対し役員による就業開拓及び契約の際に、聞き取り調査を実施し就業ニーズの把握に努める。
- (2) 会員の技能等の能力を把握し対応できる就業の調査及び研究を行う。
- (3) 毎月の、受託件数・受託件数・就業人員・契約金額等、就業実績を分析し検討する。
- (4) 会員の入会及び退会の理由等を調査研究する。
- (5) 「お客様満足度調査」を実施、サービスの向上に努める。

### 3. 就業に関する相談

会員及び高齢者の就業に関する相談を積極的に実施し会員の増強並びに就業率の向上に努める。

- (1) 市民、会員に対し随時窓口にて就業相談を行う。
- (2) 毎月、第三木曜日に会員入会説明会を実施し、高齢者の就業相談を行う。
- (3) 毎月、第二第四月曜日に会員対象に就業における悩み事相談を行う。
- (4) ハローワーク青梅の「あきる野求人コーナー」との連携による就業相談を常時実施する。

#### 4. 就業機会の開拓及び提供

希望と能力に応じた就業機会の開拓と提供の促進を図るため、民間企業、一般家庭、官公庁等に高齢者就業の理解を求め、普及啓発活動を通じ、役員が中心となり就業機会の開拓を積極的に行い就業の拡大を図る。

平成26年度理事会で決定した「就業開拓に関する施策」に基づき、今年度も地域のニーズを把握し、就業開拓並びに新たな事業の開拓により就業機会の更なる提供に努める。

- (1) 開拓については、役員が中心となり地域に密着した事業の情報収集に積極的に取り組み、就業機会を得るため、企業、事業所等を中心に訪問、労働者派遣事業の内容についても説明し就業実態を把握し、適正就業の深耕と就業機会の拡大を図る。
- (2) 提供については、受注件数及び就業会員の増加を図るため、「就業開拓の施策」に基づき、未就業会員に対し積極的に就業を紹介し、分かれ合いの就業も併せ就業機会の提供に努める。

#### 5. 研修及び講習

会員の就業機会の拡大と事業の継続性を図り、お客様とのトラブル等を無くすために知識、技能の向上を目的とした講習、安全就業及び接遇等の研修を実施する。

また、女性委員会主催・並びに（公財）東京しごと財団との共催により60歳以上の市民向けに会員募集を兼ねた講演・技能講習を実施する。

講習・研修内容		実施回数
基礎研修	新入会員フォローアップ研修 (会員の就業等の心得)	6回
	接遇研修(就業会員対象)	1回
技能研修 (安全講習合同)	小学校児童通学案内研修	1回
	草刈研修	2回
	植木研修	1回
60歳以上市民向け会員 入会促進講演・講習	女性向け講演会(会員合同)	1回
	筆耕講習	1回
	障子張り替え講習	1回
安全就業研修・講習	安全就業研修	総会時1回
	自転車安全運転講習	1回
	自動車安全運転講習	1回
	安全リーダー研修	1回
	他団体による安全就業研修等への参加	随時
労働者派遣事業関連講習	派遣登録会員並びに役職員の労働者派遣関連講習の実施・参加	随時
介護予防・日常生活支援 総合事業講習	介護予防・生活支援総合事業に係る市主催による講習会	2回
他団体主催の講習・ 研修	役員・会員・職員の各種講習・研修会の参加	随時

## 6. その他事業

### (1) 安全就業対策の推進

センター事業における安全就業は事業運営の根本である。当センターでは、「事故ゼロ」を目指し組織が一丸となり安全就業対策に取り組む。

#### 【今年度の重点目標】

- ・ 安全就業基準の周知徹底
- ・ 植木就業における安全就業の徹底
- ・ 就業途上における交通事故防止
  - ① 財団及び他地区センターの安全対策会議との連携
  - ② 作業別安全基準の徹底及び追加
  - ③ 安全しおりの活用
  - ④ 安全保護具着用の励行と用具の点検
  - ⑤ 就業途上等における交通事故防止の徹底
  - ⑥ 事故実態の分析・防止対策
  - ⑦ 会員の健康維持
  - ⑧ 健康診断の積極的受診の励行
  - ⑨ 安全就業適正巡回パトロールの実施
  - ⑩ 特別安全就業適正パトロールの実施（植木作業現場）
  - ⑪ 安全環境調査の実施（植木就業現場）
  - ⑫ 安全就業リーダーへの安全教育の実施
  - ⑬ 定時総会時における会員の安全教育の実施
  - ⑭ 安全だよりによる安全意識の啓蒙
  - ⑮ 安全朝礼・安全就業強化月間での安全周知
  - ⑯ 個人別安全計画実施報告書による安全意識の普及
  - ⑰ 安全標語の募集と応募・ヒヤリハットの募集と発表
  - ⑱ 安全事業の評価・改善

### (2) 就業適正化の推進

就業の適正化については、請負・労働者派遣による就業の区分によりお客様の理解のもと適正化に努める。また、就業の内容については理事会で審議・検討し、適正・公平・安全のもと高齢者に合った就業を確保する。一方では会員の能力に応じて公平に働く機会が得られるよう「自主・自立、共働・共助」の事業理念の実現を目標に事業を推進する。

### (3) 女性委員会の充実

女性会員の視点に立った事業活動の研究等により、女性会員の増強、就業機会の拡大並びに親睦を図るための事業を推進する。

- ① 福祉施設清掃ボランティア
- ② 事務所敷地内除草ボランティア 年2回
- ③ 60歳以上女性市民・会員向け講演会
- ④ 女性会員交流会
- ⑤ 料理教室（男性・女性）
- ⑥ 編み物・体操教室
- ⑦ 手作り班他センター視察

- ⑧ 女性委員会だより発行 年4回

#### (4) 社会奉仕活動の実践

お世話になっている地域社会の還元策とした会員による全体ボランティア活動（5月予定）をはじめ、地区組織による地域清掃ボランティア（10月予定）、女性員会主催による福祉施設等のボランティアを実施する。また、機会あるごとに広く市民に呼びかけ社会の要請に応じ、更に地域に根差した奉仕活動を積極的に行う。

#### (5) 会員の確保と広報活動

会員の確保については、重点課題にも挙げている。今年度は会員の目標値設定し、その目標を達成するための施策を検討し会員の増強に努める。

広報活動については、市循環バスに車外広告を掲示しセンターのPRに努める。

ホームページについても一層充実し、当センターの活動状況を随時掲示し積極的に情報の開示をする。また、産業祭等に参加し、チラシ等を配布、ブースには相談コーナーを設けセンター事業の周知PRに努める。

#### (6) 会議等

センター事業の効果的推進を図るため、次の会議を開催する。

- ① 定時総会（6月14日予定）年1回
- ② 理事会 年12回
- ③ 常任理事会 年12回
- ④ 就業開拓委員会 年6回
- ⑤ 事業委員会 年6回
- ⑥ 広報委員会 年10回
- ⑦ 女性委員会 年4回
- ⑧ 安全管理委員会 年6回
- ⑨ 設立40周年記念誌作成委員会（仮称） 年10回
- ⑩ 理事・監事・地区委員合同会議 年2回
- ⑪ 地区会議（6地区） 年2回
- ⑫ 地区長会議 年2回
- ⑬ 安全リーダー会議 年1回

#### (7) 事務局

事務局職員は、センター事業を適正に実施していくために、ひいては役員、会員のサポート役を担うべく資質の向上に努める。また、行政のシルバー人材センターに付託する意味を認識し施設等の効率的利用と事務処理の効率化に努める。

東京都第6ブロック職員連絡会等に積極的に参加し、日常業務の処理体制等を比較検討し、相互の研鑽を図る。

研修については、財団主催による職員研修を自己の研鑽の機会を捉え、積極的に参加し、見識を広め自己能力の開発に努める。

#### ※ 会員が自主的に実施する親睦事業

会員の自主的運営による親睦のためのハイキング及び日帰り旅行を計画し実施する。